

| 授業科目(ナンバリング) | 国際関係論(AC121) | | | 担当教員 | 滝 知則 | | |
|---|--|-----|------|---------|-----------------------|-------------------|-------------------------|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の 類 型 |
| 今日の日本にとっての国際関係の主な課題にはどのようなことがあるかを、グループワークを通して理解したうえで、そうした課題について基礎的な説明ができるようになる。 | | | | | | | ①⑥⑨ |
| ホスピタリティ を構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・ 方法 | 評価 比率 | |
| 専門力 | 国際関係の課題について、どのアクターが関与し、どのような利害があるかを、歴史的経緯を踏まえて述べるができる。 | | | | 随時試験 | 10% | |
| 情報収集、 分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決 力 | グループワークに参加し、討論に貢献できる。 | | | | プレゼンテーシ ョン | 10% | |
| 多様性理解力 | ①国内社会と国際社会の特性の違いを説明できる。 ②20 世紀前半、冷戦期ならびに冷戦後の国際関係の構造と課題に関する特徴の違いを、説明できる。 | | | | 予習・復習 小テスト 随時試験 | 10% 20% 50% | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 随時試験 60%、予習・復習 10%、小テスト 20%、プレゼンテーション 10%とする。予習・復習では毎回の授業で学修した内容の理解度を確認するとともに、学修への取り組みの積極度を見る。小テストでは、第 10 回までに学修した国際関係の基本的な事項の理解度を確認する。プレゼンテーションでは、学修した基礎知識にもとづいて、国際関係の事例を分析できる能力、ならびにグループで学修できる能力に注目する。フィードバックは、当日または翌週の授業で行う。定期試験では国際関係の理論の理解度、ならびに理論に基づいて事例を分析できるかどうかを評価する。 | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| 第 2 回～第 4 回では、国際関係論の理論のごく基本的な事項を学ぶ。第 5 回から第 12 回では、国際関係における実際の課題の学修と、理論の理解を並行して行う。国際関係というと戦争と平和をイメージする人もあると思うが、第 5 回と第 6 回では安全保障について学ぶ。国際関係における課題は、目に「見える」戦争と平和のみに限られない。経済は平和を可能にする場合と、紛争の背景になることがある（第 7 回と第 8 回）。戦争と平和はまぎれもなく重要な課題だが、そもそも人類がこれからも地球上に生きていけるかどうかを考える必要も、今日の世界にはある（第 9 回と第 10 回）。人権は人間にとって不可欠の理念だが、人権をめぐる政治も行われる（第 11 回と第 12 回）。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。 | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| 教科書：山田高敬・大矢根聡編（2011）グローバル社会の国際関係論（新版）．有斐閣。 参考書：浦田晃嗣他（2015）国際政治学をつかむ（新版）．有斐閣。 指定図書：教科書に同じ。 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 1. ニュースで報道される国際関係のできごとに注目し、関心のある事例についてはノートを取ってほしい。 2. 「自分が、この事例の中に生きている人たちの立場に立っていたらどうしたい（どうなってほしい）だろうか」という問題意識を持って、この授業の学修にとりくんでほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|------------|--|--|
| 1 | イントロダクション | ①この授業のねらい、テーマとスケジュールを確認する。 ②小テストとプレゼンテーションの説明。 | (予習) シラバスを読んでおくこと。 (復習) まとめ問題 |
| 2 | 理論 1 | (序章) 国際関係とは、国際関係を学ぶとは | (予習) 教科書 (以下同) pp. 1-22. (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 3 | 理論 2 | 国際関係の理論① (リアリズム) (第 1 章 pp. 25-51) (参考書 unit 6) | (予習) pp. 24-51 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 4 | 理論 3 | 国際関係の理論② (リベラリズム) (第 2 章 pp. 53-90) (参考書 units 7, 8 and 9) | (予習) pp. 52-90 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 5 | 安全保障 (1) | 冷戦からポスト冷戦へ (第 3 章 pp. 93-102) (参考書 units 4 and 5) | (予習) pp. 92-102 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 6 | 安全保障 (2) | 人道的介入 (第 3 章 pp. 102-114) (参考書 units 20 and 21) | (予習) pp. 102-114 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 7 | 国際経済関係 (1) | 国際レジームの形成からグローバル化へ (第 4 章 pp. 133-150) | (予習) pp. 132-150 (復習) ①まとめ問題 |
| 8 | 国際経済関係 (2) | 東アジアの地域主義 (第 4 章 pp. 162-176) (参考書 unit 17) | (予習) pp. 162-176 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 9 | 地球環境 (1) | 地球環境問題への対応 (第 5 章 pp. 178-183) (参考書 unit 24) | (予習) pp. 177-183 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 10 | 地球環境 (2) | 国際開発援助レジームの変容 (第 5 章 pp. 197-208) (参考書 unit 25) MDGs と SDGs | (予習) pp. 197-209 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 11 | 人権 (1) | 人権の国際問題化 (第 6 章 pp. 211-221) (参考書 unit 22) | (予習) pp. 210-221 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 12 | 人権 (2) | ①難民の保護と UNHCR (第 6 章 pp. 222-234) ②小テストの準備 | (予習) pp. 222-235 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。 |
| 13 | 小テスト | 第 12 回までの学習内容の理解度を確認する。 | (予習) 第 1 回～第 12 回のプリント |
| 14 | プレゼンテーション | ①現代の日中関係、②現代の日米関係、または③その他の関係における課題を調査し、分析結果を報告する。 | (予習) プレゼンテーションの準備・練習 (復習) 自他のプレゼンの評価 |
| 15 | 全体のまとめ | ①第 14 回までの学習内容のふりかえり (終章 pp. 249-263)、②国際関係と国際観光 | (予習) pp. 249-263 (復習) 定期試験の準備 |